

設定

設定を開く

1. ウィンドウ右上の≡メニューボタン をクリックする
2. 設定 をクリックする

設定項目

メールアドレス

レディモで通知配信に使用する、送信先のメールアドレスを入力してください。

気象台名

気象警報・注意報（H27）では、この気象台が発表した電文のみを表示します。
東京都の場合は、気象庁 を設定してください。

管区気象台名

火山に関連する電文は、この管区気象台が発表した電文のみを表示します。
例）気象庁 札幌管区気象台

津波予報区コード

津波予報区 のコードを設定してください。
津波警報・注意報・予報a の通知・原稿 機能でこの予報区の情報のみを表示します。

地域コード

複数の地域コードを登録することができます。
気象警報・注意報（H27）では、画面右側の詳細表示でこの地域の情報のみが、表示されます。ただし、上記で設定した気象台の管轄に含まれていない場合は、電文そのものが表示されません。
震源・震度に関する情報 では、画面右側の詳細情報には設定した地域の震度のみが表示されます。設定した地域では揺れなかった場合は、電文は表示されますが、右側の詳細表示には震度は表示されません。

フィード

電文を取得するAtomフィードの種類です
高頻度フィード を使うことをおすすめします(デフォルトで高頻度フィード)

- 長期フィード
約1週間分の情報を取得できます 毎時定時に更新されます そのため17:20なら、17:00までの電文のみ取得できます
更新ボタンを押してから読み込みに30秒ほどかかります
- 高頻度フィード
約24時間ほどの情報を取得できますが、電文が多く発行される場合は、24時間よりも少ない電文しかないこともあります

テストモード

デフォルトで無効

テストモードの有効・無効を切り替えます

- 有効
- 無効

コード の調べ方 (Excelファイルで)

A. 気象庁防災情報XMLフォーマット [技術資料](#) 内の、**コード管理表及び個別コード表** の **個別コード表** をダウンロードして、展開する

地域コード

1. **A** の中に含まれる、**YYYYMMDD_AreaInformationCity-AreaForecastLocalM.xls** (YYYYMMDD には更新日が入る) をExcelで開く
2. シート "**AreaInformationCity**" で地域名を探す
3. そのA列の数字が「地域コード」

津波予報区コード

1. [気象庁 | 津波予報区について](#) から津波予報区を探す
 2. **A** の中に含まれる、**地震火山関連コード表.xls** をExcelで開く
 3. シート "**31**" で、1番で特定した津波予報区を探す
 4. そのA列の数字が「津波予報区コード」
- 注意:** 津波予報区のコードには対応していますが、**結合表現 領域表現** には対応していません

地域コード・気象台 の調べ方 (気象庁ホームページで)

1. [気象庁 | 気象警報・注意報](#) の地図で、探している地域をクリックする
2. 開いたページの上から 2,3行目に、発表時刻の横に書かれているのが「気象台名」
参考: [各地の気象台・施設等機関 | 気象庁](#)
3. 開いたページのURLの **&area_code=** の右側に書かれている数字が「地域コード」

設定を閉じる

- 保存して閉じる場合 → 保存 ボタンをクリックする
- 保存せずに閉じる場合 → 戻る ボタンをクリックする